

問題【社会】

次の問いに答えなさい。

- 1 683年に作られた日本最古のお金は？
- 2 奈良時代に、唐にならって作られたお金は？
- 3 室町時代に使われることが増えたお金は？
- 4 江戸時代に作られた銅銭は？

豆知識 雑学コラム

今も昔も お金は大事

今回のテーマは「お金」です！

新紙幣が2024年には全面刷新されますね。そこで、今回はお金の話をします。入試に出るかもしれませんよ？

日本で一番古いお金は、富本銭とされています。ただし、どのくらい流通したかはわかっていませんので、お金として認めていいのかは微妙なところですよ。その後、唐のお金にならって和同開珎が作られました。和同開珎は、中国にあった渤海の都の跡からも出土しています。



室町時代は、特にお金が流通しました。定期市の回数も増え、みんながお金を使うようになっていきました。このころは、中国から輸入したお金をよく使っていました。宋銭や明銭と呼ばれているものです。お金が良く使われるようになったので、室町時代には酒屋、土倉と呼ば

れるお金の貸しつけを行う人も出てきましたね。

江戸時代に入ると、佐渡金山（新潟県）、生野銀山（兵庫県）、石見銀山（島根県）、別子銅山（愛媛県）、足尾銅山（栃木県）からとれる金、銀、銅を使って貨幣が作られました。銅銭の寛永通宝が有名ですね。また、17世紀の後半には、諸藩は財政が苦しくなりました。そこで、藩札と呼ばれる藩独自の紙幣を発行することもありました。

今も昔も、お金は大事ですね！



【解答】

- 1 富本銭 2 和同開珎 3 宋銭、明銭 4 寛永通宝